

# 2012年3月期 第2四半期決算説明会

2011年11月18日  
河西工業株式会社

**KASAI**

# 東日本震災とタイ洪水の当社生産への影響について

KASAI

1. 大震災では一部代替品への対応を行いましたが、現在、当社の生産は正常に戻っております。
2. タイ子会社であるKasai Teck See Co., Ltd.が立地しているハイテク工業団地全体が浸水しており、当社工場も現在、操業を停止しております。

避難命令のため、被害の詳細については把握できておりませんが、再稼働の時期につきましては見通しがついた段階で、改めてお知らせ致します。

被害を最小限に留めるべく、下記対応を行っております。

- ① 金型・設備等をタイ南部に移動し、生産を継続。
- ② 日本を初めとした近隣各国での代替生産を実施。

# 1. 2012年3月期 第2四半期決算(累計) 並びに、2012年3月期 通期の見通し

## 2. 今後の事業戦略について

# 2012年3月期 第2四半期(累計)

KASAI

## 第2四半期(累計)の連結業績

(単位:百万円)

	前期		当期		当期－前期	
	2011年3月期 第2四半期累計		2012年3月期 第2四半期累計		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高	61,374	100.0%	55,625	100.0%	△ 5,749	-9.4%
営業利益	4,616	7.5%	2,620	4.7%	△ 1,996	-43.2%
経常利益	4,384	7.1%	2,542	4.6%	△ 1,842	-42.0%
四半期純利益	2,270	3.7%	1,243	2.2%	△ 1,027	-45.2%

	前期	当期	当期－前期	
為替レート	91.02 円/\$	81.78 円/\$	△ 9.24	-10.2%

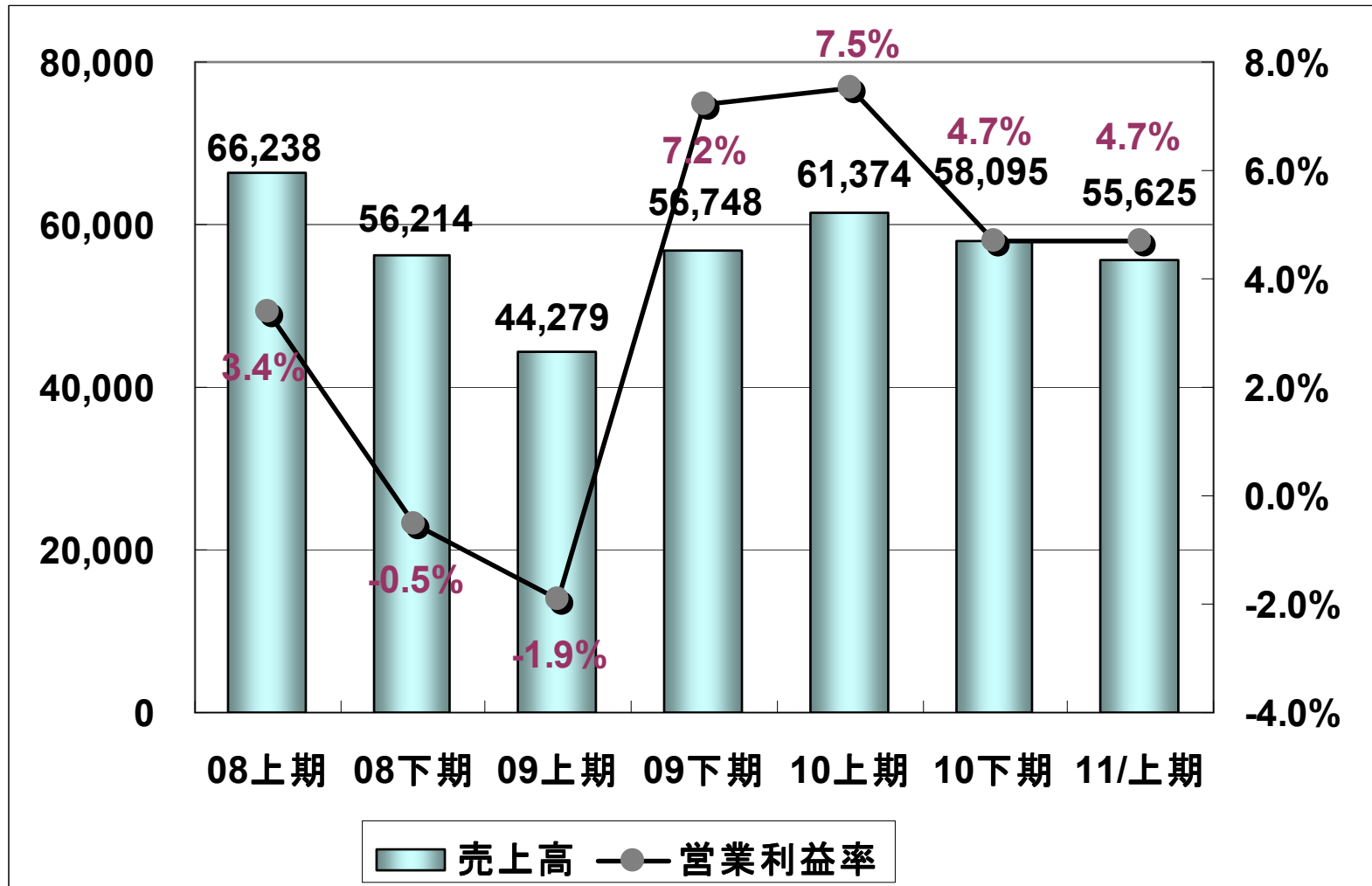
(為替変動による営業利益影響額 △247百万円)

# 2012年3月期 第2四半期(累計)

KASAI

## 半期毎 売上高 & 営業利益率推移

(単位:百万円)

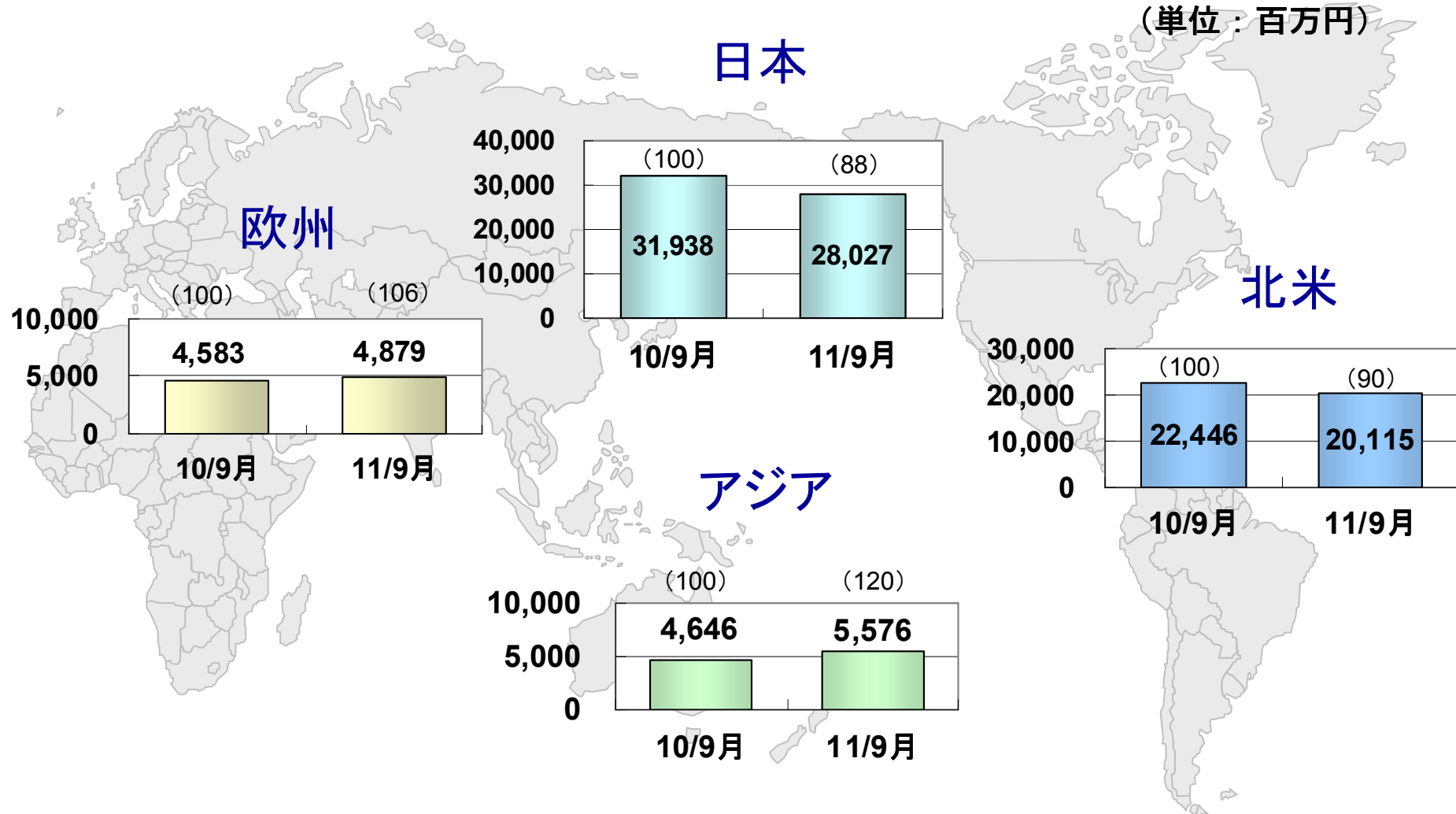


# 2012年3月期 第2四半期(累計)

KASAI

## 第2四半期(累計) 売上高 (地域別)

(単位：百万円)

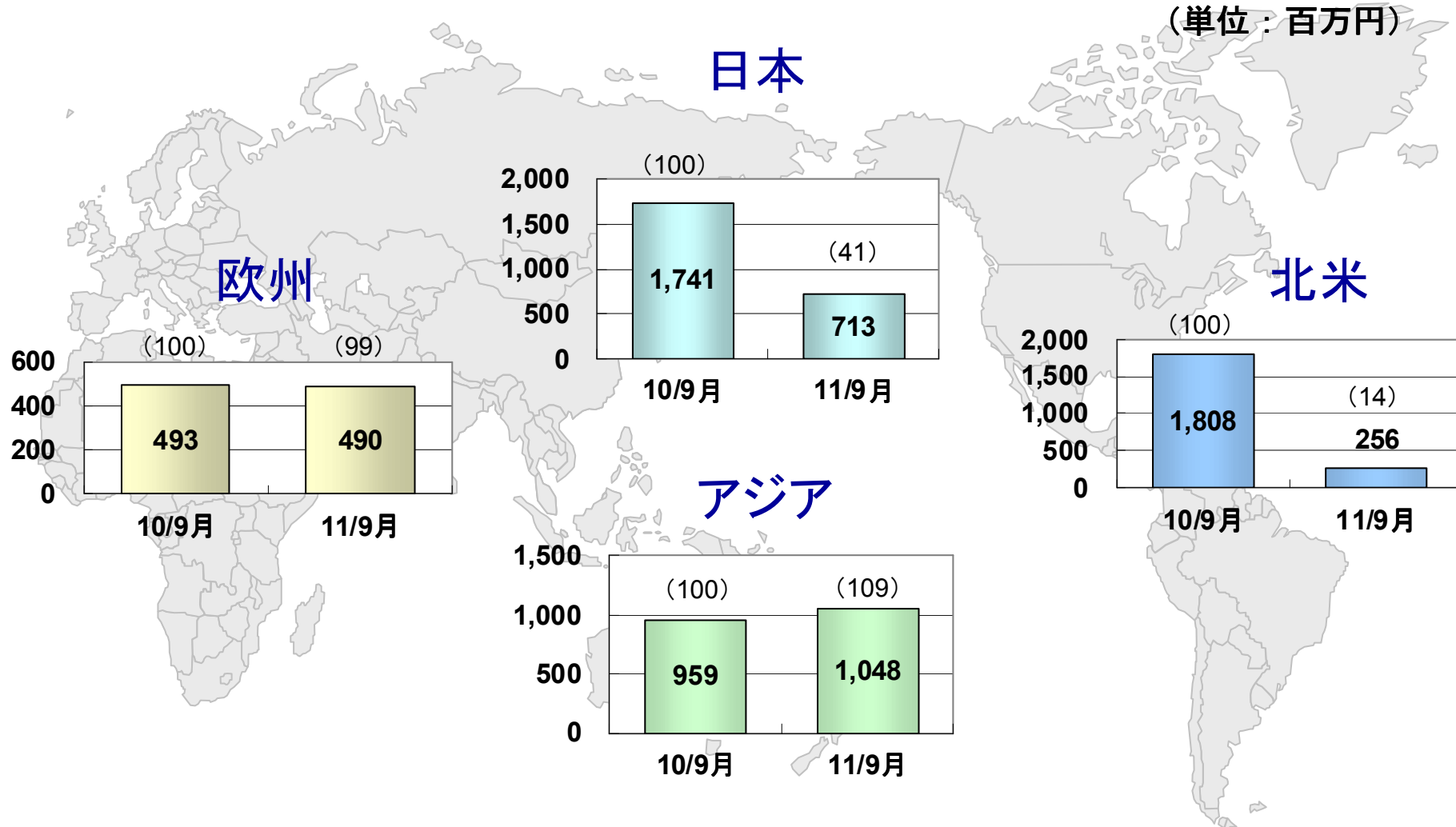


# 2012年3月期 第2四半期(累計)

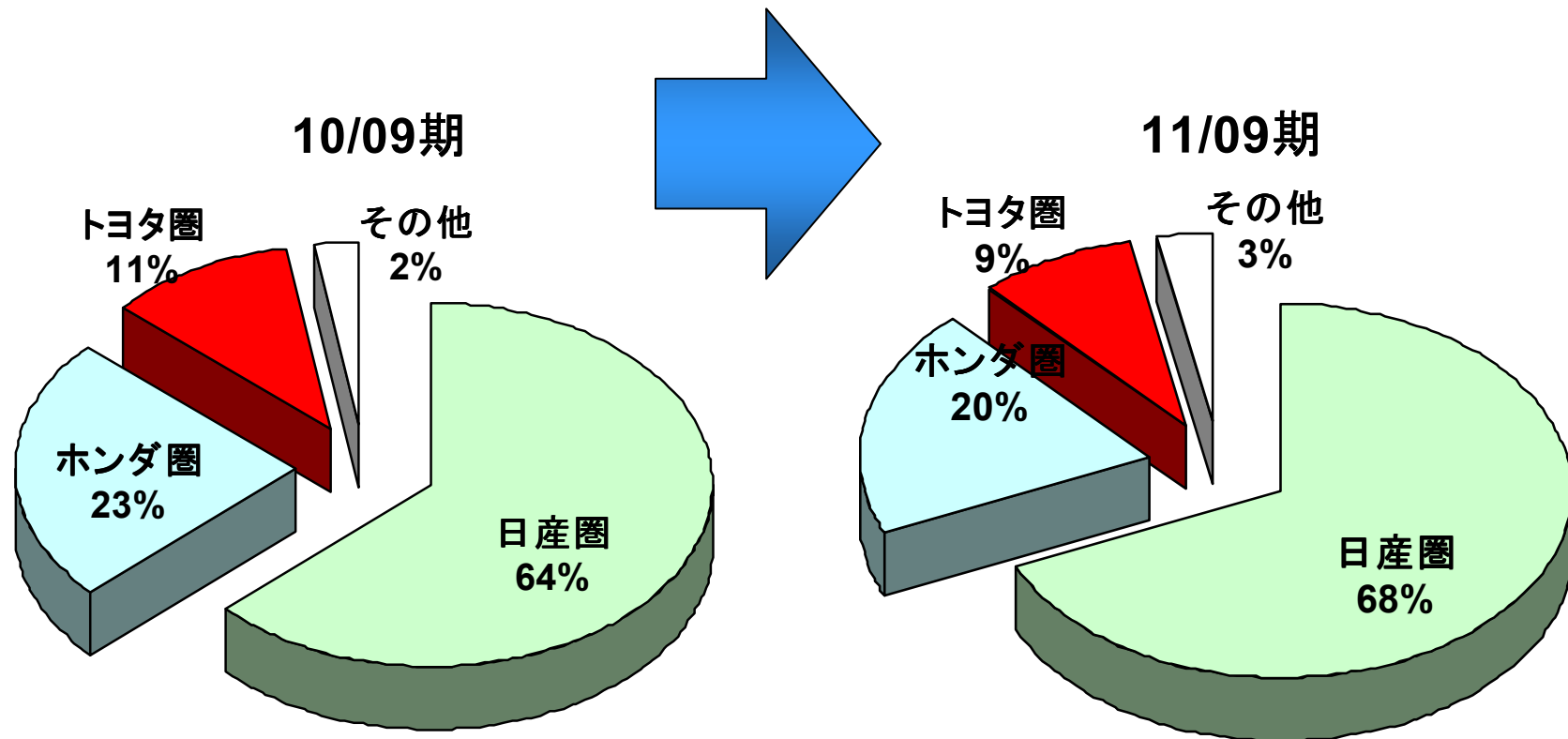
KASAI

## 第2四半期(累計) 営業利益 (地域別)

(単位：百万円)



# 第2四半期(累計) 得意先別売上シェア

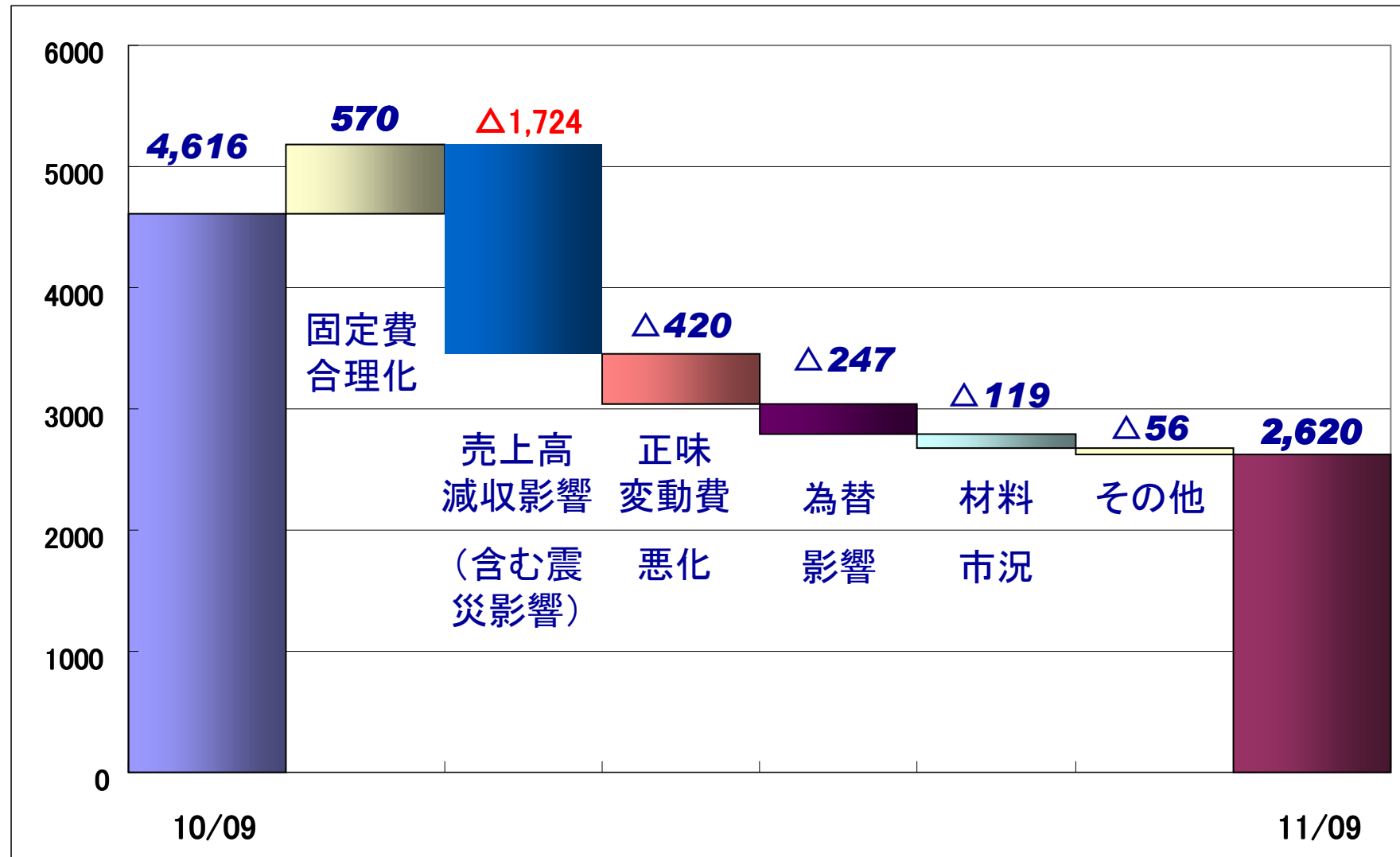


# 2012年3月期 第2四半期(累計)

KASAI

## 第2四半期(累計) 営業利益 増減分析

(百万円)



# 2012年3月期 第2四半期(累計)

KASAI

## 財政状態 及び キャッシュフロー

### 【財政状態】

(百万円)

	2010年度 4Q末	2011年度 2Q末
総資産	69,580	74,647
自己資本 (自己資本比率)	16,322 (23.5%)	17,012 (22.8%)
有利子負債残高 (NET有利子負債)	25,055 (18,095)	26,614 (21,543)

注)有利子負債残高にはリース債務を含む。

### 【キャッシュフロー】

(百万円)

	2010年度 2Q末	2011年度 2Q末
営業キャッシュフロー	5,509	833
投資キャッシュフロー	△ 1,272	△ 3,138
財務キャッシュフロー	△ 2,883	363

# 2012年3月期 通期の見通し

KASAI

## 12年3月期 連結業績見通し

【単位:百万円】

	前期		当期		当期－前期	
	2011年3月期		2012年3月期		増減額	増減率
	通期	構成比	通期	構成比		
売上高	119,469	100.0%	120,000	100.0%	531	0.4%
営業利益	7,346	6.1%	6,500	5.4%	△ 846	-11.5%
経常利益	6,925	5.8%	6,300	5.3%	△ 625	-9.0%
当期純利益	2,793	2.3%	2,600	2.2%	△ 193	-6.9%

	前期	当期	当期－前期	
為替レート	87.32 円/\$	77.00 円/\$	△ 10.32	-11.8%

1. 2012年3月期 第2四半期決算(累計)  
並びに、2012年3月期 通期の見通し

**2. 今後の事業戦略について**

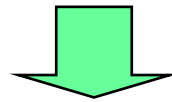
## 1. 東日本大震災とタイ洪水

⇒ 効率を目指す1国1極生産（選択と集中）  
からリスク分散の必要性

## 2. 急激な円高

⇒ ①自動車メーカーの輸出損益悪化による  
生産の海外移転加速（国内の空洞化）  
②円高メリットを活かした調達拡大

円高基調に対応して、自動車メーカー  
各社も海外生産加速の動き



当社は海外生産の増加を成長の  
好機と捉え、グローバル化を推進する

## <取組み課題>

### 1) グローバル供給体制の確立

⇒ 未進出国への展開と一極集中を避けた供給体制

⇒ アライアンスによるシナジー効果の追求

### 2) LCCの活用による原価低減

⇒ 円高を活用したLCCからの低価格部品の輸入

### 3) 海外拠点の自律化

⇒ 地域毎に完結できる体制

# 1) グローバル供給体制の確立①

急激なグローバル展開を可能とするパートナーが必要

グループ・アントリン(ブラジル・ロシア・インド他)

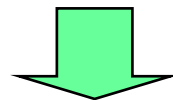
裕信国際(中国・広州、台湾)

蕪湖奇瑞科技(中国・蕪湖)

海南鈞達汽車飾件(中国・開封)

東原テック(韓国)

Teck See Plastic(タイ、インドネシア、マレーシア)



リソース(人・物・金・時間)を相互補完

## 1) グローバル供給体制の確立②

KASAI

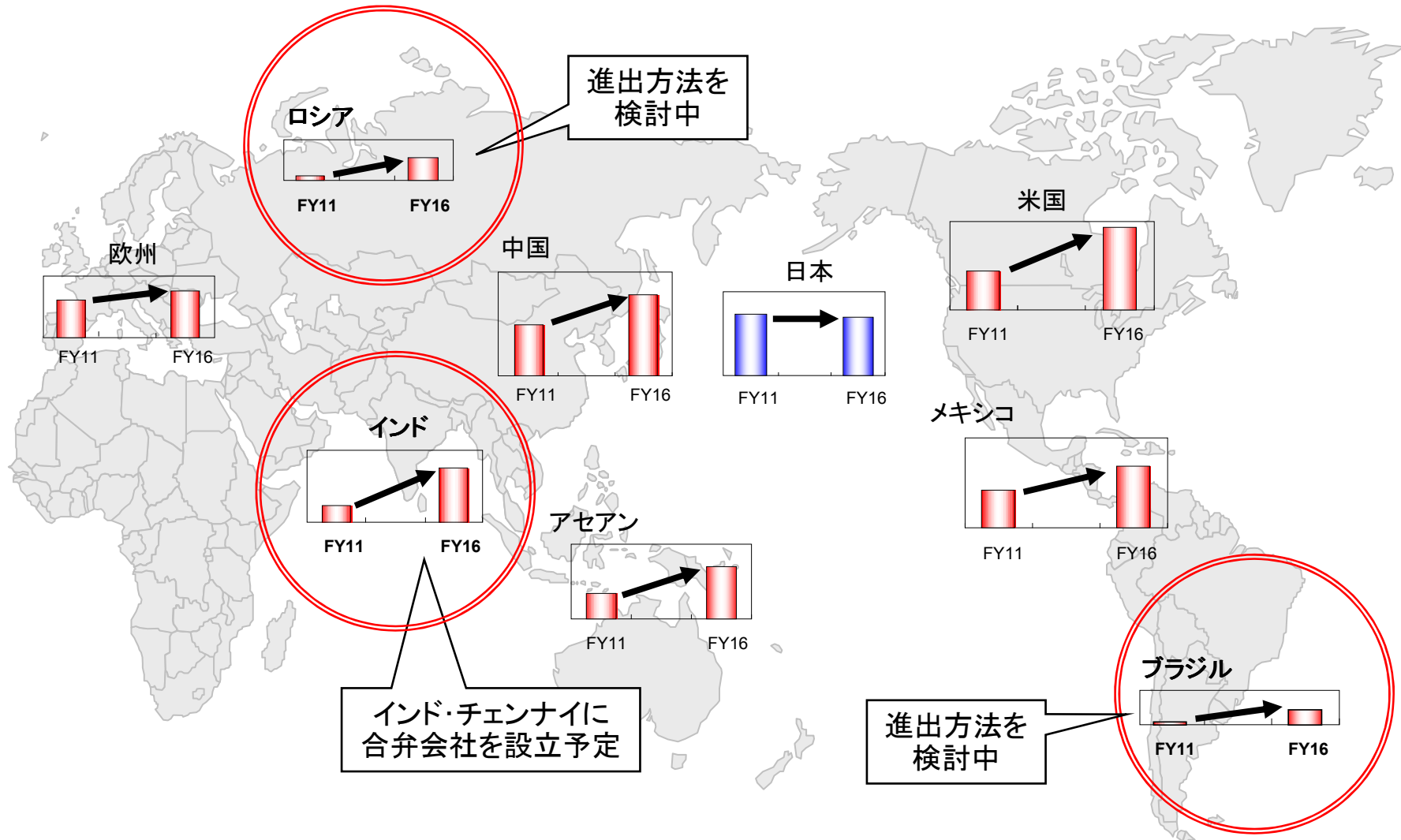
アントリンとのアライアンスによるシナジー効果

最良品質、且つ競争力のある製品の  
グローバル供給

- R&Dの相互補完
- 合併による投資負担額の削減
- 部品の共有化によるコスト削減  
(サンバイザー/天井コンソール部品等)

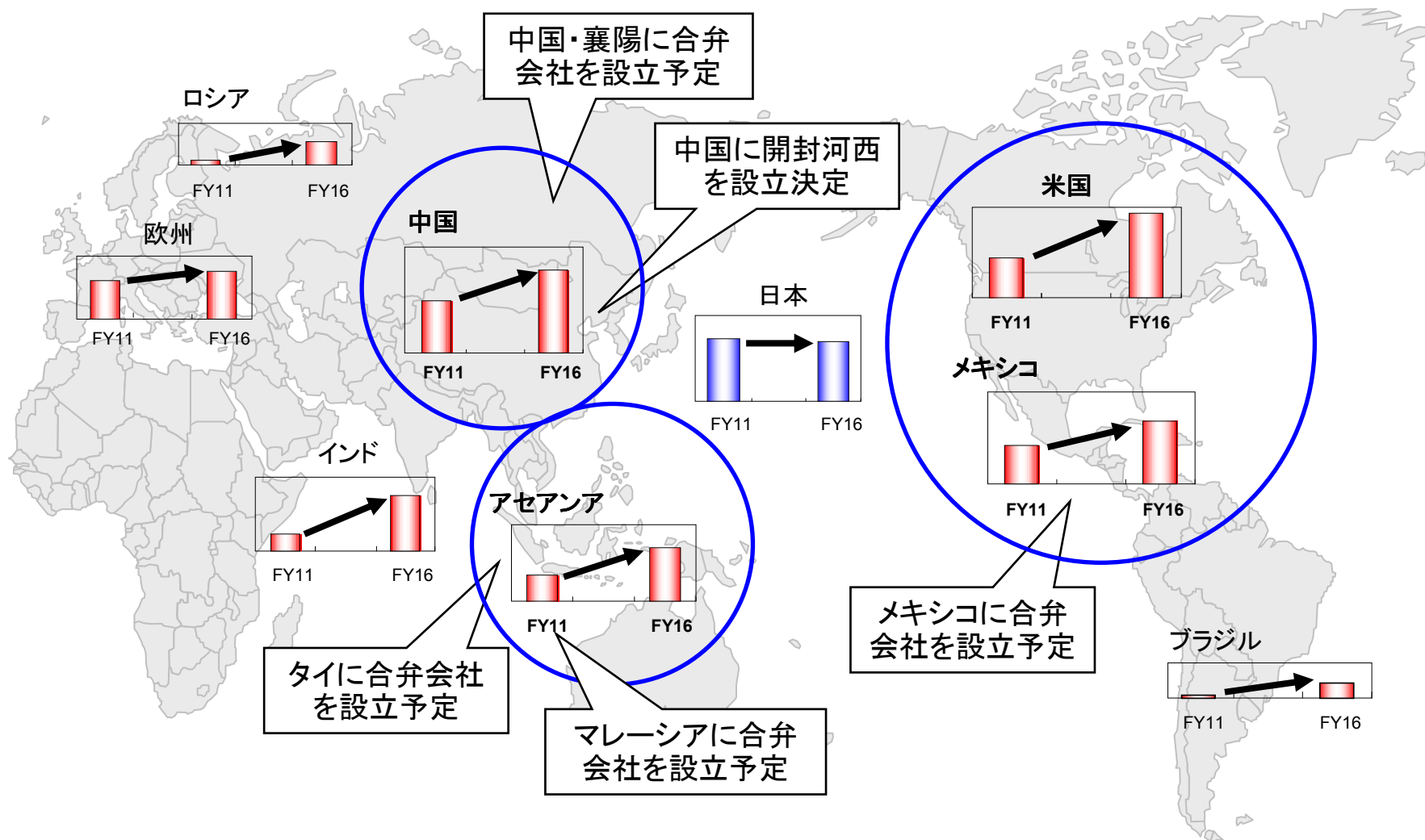
# 1) グローバル供給体制の確立③

## 未進出国での新規拠点設立



# 1) グローバル供給体制の確立④

## 既存進出国での生産能力増強 (グラフは日産の生産計画)



# 1) グローバル供給体制の確立⑤

世界共通部品のリスク分散を目的とした多極生産

## 1. サンバイザー

タイ(河西)に加え、  
中国、メキシコ(河西/アントリン合併)  
インド、ブラジル等(アントリン)  
での生産を計画。

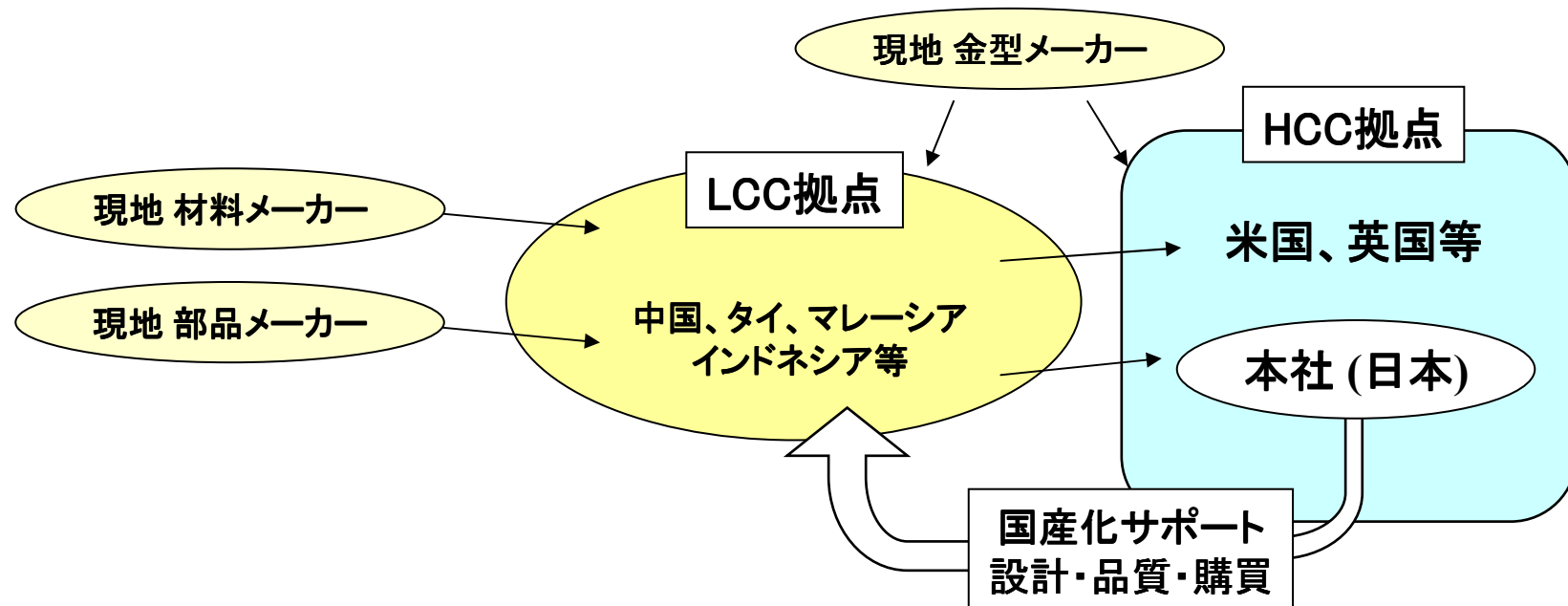
## 2. マップランプ生産

中国に次ぎ、メキシコでの生産を計画。

## 2) LCCの活用による原価低減

### LCCからの部品・金型調達の促進

1. 日本からの支給部品をLCCの国産化部品へ切替
2. LCCでの国産化部品をHCCの当社拠点で活用
3. LCCからの金型調達(直接投入)



### 3) 海外拠点の自律化

#### 1. 海外拠点への機能移転

- ① 河西生産方式(KPS)のグローバル共通版浸透
  - ② 本社とグローバル各拠点機能の役割・期待値の明示
  - ③ 各拠点の主要機能ローカル化
- ⇒ 米国・中国・アセアンへの開発機能等の移転を計画中

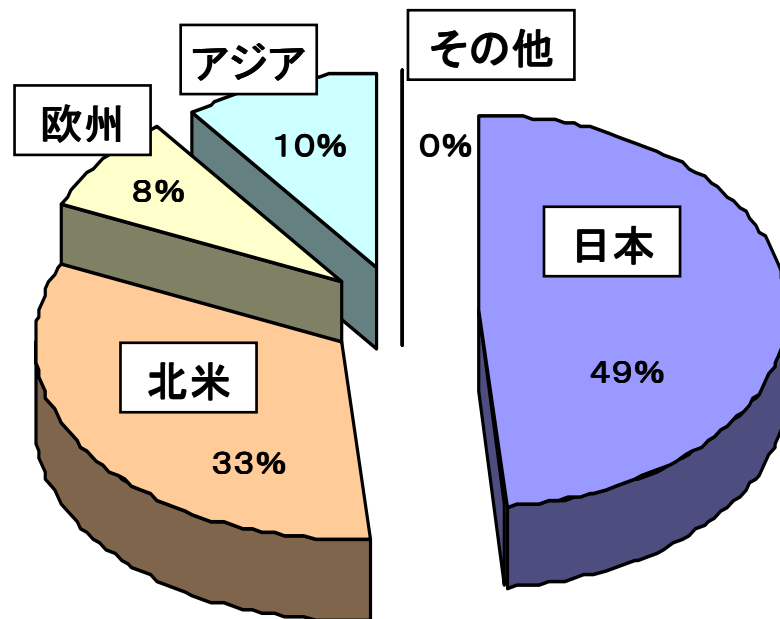
#### 2. 人財のグローバル化(多様化)

- ① グローバル共通人事評価基準構築と浸透
- ② 語学教育
- ③ 主要ポストの人材多様化  
(国籍、性別、年齢に拘らない起用と評価)

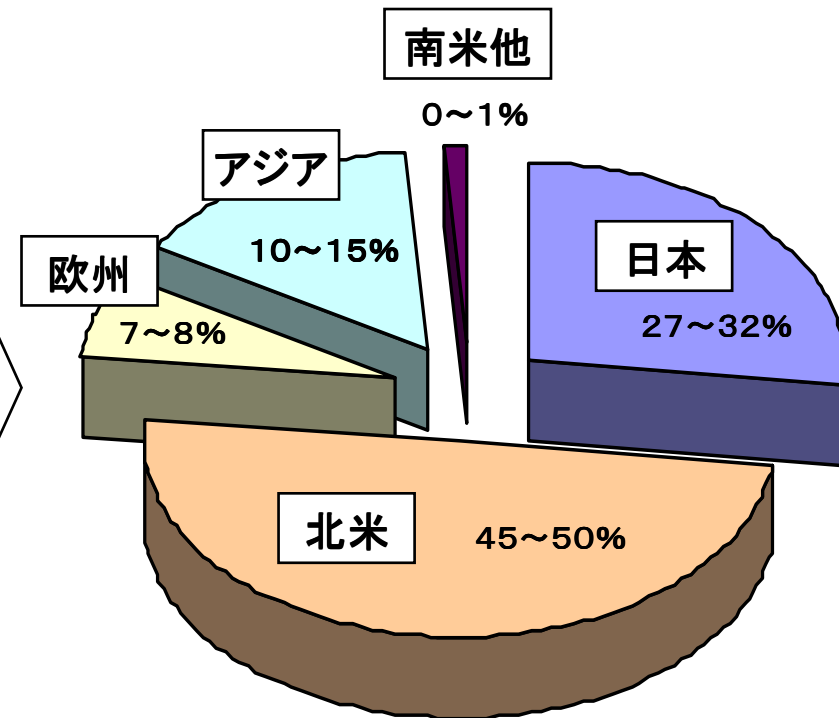
# 2016年3月期の売上想定

## 地域別売上予測

2012年3月期



2016年3月期



(売上予想: 2000億円)

## 本資料についてのご注意

本資料に記載されている河西工業株式会社の将来に関する見通しは、過去の事実ではないために不確定なリスク要因を含んでおります。

したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性がありますということをご了承ください。